



一日一前

校長室通信

第 9 号

平成30年1月15日

1月 戊年 — 申酉騒ぎ、戌笑う —



2018年は戊年。十二支は中国の殷の時代（紀元前1700年頃～1046年）では日付を記録するために、戦国時代（紀元前403年～221年）になると天文学に用いられました。木星が約12年かけて、西から東に異動しながら一周することを発見し、木星の軌道を12分割することによって、毎年、位置を把握していました。

(中国)

中国では木星の軌道を表すために植物の生育状況を表す漢字1文字が割り当てられましたが、日本では十二支を覚え易いように動物が割り振られました。

子	新しい生命が種子中に生まれる状態	午	草木が極限を過ぎ、衰えた状態
丑	芽が種子中に生じ、伸びれない状態	未	果実が熟して滋味が生じた状態
寅	春が来て芽が種子の外に生じる状態	申	果実が成熟して固まって行く状態
卯	草木が地面を覆うようになった状態	酉	果実が成熟の限界に達した状態
辰	草木が成長し形が整った状態	戌	草木が枯れる状態
巳	草木の成長が極限に達した状態	亥	草木の生命力が種子にできる状態

その干支になぜその動物が割り当てられたのか理由が不明なものもありますが、縁起の良い動物が選ばれたことは記録に残っています。

子	鼠は多産で子孫繁栄、働き者の象徴	午	馬は縁起が良く、左馬は福の象徴
丑	牛は農耕利用で、粘り強さの象徴	未	羊は群れをなし、家族安泰の象徴
寅	虎の黄色い縞模様は金運の象徴	申	猿は不幸が去るに通じ、神の使い
卯	兎はツキ(月)を呼び、縁起良し	酉	鶏は新年最初に鳴き、縁起良し
辰	龍は権力の象徴、立身出世の象徴	戌	犬は家族を大切、子孫繁栄の象徴
巳	蛇は金運の象徴、蛇の抜殻は縁起物	亥	猪は神聖な動物で田や作物の神

それでは干支によって、何かその年の出来事に特徴が出るのでしょうか。株式相場には「申酉騒ぎ、戌笑う」という格言があります。過去の申年と酉年には株式相場が上下に揺れ動き出し、戌年には必ず大きな収益を上げているという結果が出ています。事実、昨年と一昨年から株価が動き出し、今年は株価がかなり上がり、笑える確率が高いと言われています。

教育の世界にも同じような状況があります。1992年(申年)に夏の甲子園大会で松井秀喜選手が5打席連続敬遠、また、米国で日本人留学生が民家を訪問した際、不審者と誤解され射殺され、長期間、新聞・テレビで騒がれました。1993年(酉年)にはいじめで体育館倉庫のマットに巻かれた生徒が死亡し、いじめで自殺生徒が増加、北海道南西沖地震で死者231名と大きな出来事が続きましたが、1994年には少し落ち着いたような状況があります。

また2004年(申年)には狂牛病や鳥インフルエンザが発生、愛知県で高校生4名が集団暴行を受け1人死亡、新潟県中越地震で被災者10万人、大学生が携帯料金について注意され金属バットで母親を撲殺、2005年(酉年)はJR福知山線脱線事故でマンションに衝突し、死者104名、負傷者400名以上、山口県で男子高校生が火薬入りの瓶を教室に投げ込み爆発し、生徒58名が負傷した事件がありました。しかし、2006年(戌年)には落ち着きました。

さて、本校ではここ2年間、大学入学共通テスト、学びの基礎診断、新学習指導要領告示の他にフィールド制終了や間口減などで騒がれました。「申酉騒ぎ、戌笑う」の後に、実は「亥固まり、子繁栄」という格言が続くようです。2016年(申)、2017年(酉)と慌ただしかった状況が2018年(戌)には笑って終わられるように、そして2019年(亥)には本校の新しい教育活動体制が固まり、2020年(子)には丘珠高校が繁栄しているようにしたいと思います。